

附属牧場の先生に聞いてみよう！ —被ばく豚の救出とその健康状態のコト—

2011年東大附属牧場に、東京電力株式会社福島第一原子力発電所警戒区域である20キロ圏内の屋内豚舎で約100日間飼育された原原種豚を救済し、放射性物質の影響やその後の成長と健康状態を見守りながら、血液検査や放射線セシウムの濃度測定など継続的に行う一方、第二世代、第三世代と繁殖においても実証的に健康評価、生殖機能評価、被曝量モニタリング等を実施しています。

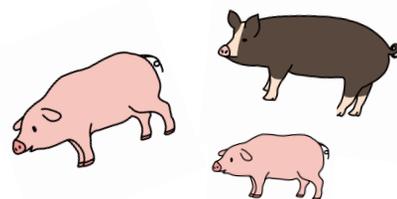
今回はその原原種豚とその子孫の調査研究をしている、東大附属牧場の李俊佑先生に被ばく豚の健康状態を中心にお話しいただきます。

どうぞ、お気軽にご参加下さい。

■話題提供者 李 俊佑 先生

(東京大学大学院 獣医学専攻

附属高等動物教育研究センター(附属牧場))



2016年11月8日(火) 14:00~15:30

- 定員 20人(対象：中学生以上、申込み先着順)
- 場所 東京大学農学部・フードサイエンス棟地上1階「カフェアグリ101」
東京メトロ南北線「東大前」徒歩7分
- 参加費 無料
ただし、飲み物(300円程度)は各自カフェにてご購入いただきます。
- 申し込み メールにて11/1 (火)まで。詳細は裏面をご覧ください。

申し込み方法

メールに、氏名・連絡先(メールアドレス)・ご職業を明記の上、

2016/11/1(火)までに下記宛までお申し込みください。受付の連絡が5日以内に事務局から届かない場合は再度ご連絡ください。

メール：**shokuhin@frc.a.u-tokyo.ac.jp**

障害等のため、設備、情報保障等の配慮が必要な場合は、申込時にお申し出下さい。

会場の場所

〒113-8657 文京区弥生1-1-1 フードサイエンス棟地上1階「カフェアグリ101」
東京メトロ南北線「東大前」下車、徒歩7分



問い合わせ先

TEL : 03 (5841) 0916、メール : shokuhin@frc.a.u-tokyo.ac.jp

東京大学大学院農学生命科学研究科附属食の安全研究センター

★ホームページ : <http://www.frc.a.u-tokyo.ac.jp/>

★フェイスブック : <https://www.facebook.com/UTokyo.foodscience>